

平成29年3月15日

No. 100

# 日立理科クラブ通信



日立理科クラブ

## 理数アカデミー 合同修了式

3月12日(日)、平成28年度・理数アカデミー合同修了式が教育プラザで行われました。

来賓として出席した市教育委員会・中山教育長から、NHKの朝の番組の内容の話がありました。

「瀬戸内海に浮かぶ人口500人ほどの百島で、ただ一人の医師が島の住民たちの健康を守ることはもちろん、自らボートを操縦し近隣の島々の医

理科クラス



療も行っています。この診療所の院長の大きな夢は、水上飛行機を運転し、瀬戸内海の離島に空から医療を届け、離島医療の新しいモデルを作ろうと奮闘しています！」という内容です。受講生の皆さんに、自分にしかできない夢を持って、その夢を実現して欲しいというメッセージが送られました。

また、日立理科クラブの佐藤代表からは、就職して間もない時期の苦い経験談が話されました。

数学クラス



「私は、就職3年目で主任指導員として5000馬力のモーターの修理にたずさわり、多くの職人さん達の上に立っていました。ところが、修理したはずのモーターが破損するという大事故が起きてしまい、責任を痛感しました。とても落ち込んでいたのですが、駅前にあるそば屋さんに入って、ふと目にした短冊の言葉にはっとしました。いばるな！怒るな！くさるな！怠るな！という言葉です。自分を振り返り何か救われた気がしました。特に最後の怠るな！という言葉は、私の人生の大きな支えとしました。」人生訓の一つとして、受講生にも何か伝わるヒントになったのではないのでしょうか。

理科クラス・数学クラス・自由研究コースの担当者から、1年間の活動内容や成果と課題の報告がありました。全体的には、出席率が低下してきていて理数アカデミーの活動そのものの改革が求められましたが、皆勤賞・精勤賞を受賞した受講生の頑張りもたたえられました。また、自由研究コースでは、他の模範となる優れた研究成果を上げたということで、最優秀賞・優秀賞・チャレンジ賞という特別賞が計8名の受講生に贈られました。

来年度は、理科・数学クラスにおいて、部活や受験等で出席しにくい中3の代わりに、小6を対象にして希望者を募るなど新規の活動内容が報告され、修了式が終わりました。この1年間の活動は、他校生との関わりはもちろん、日立理科クラブの講師の皆さんの熱意ある指導を受け、知識だけでなく、社会につながる広い視野を学ぶ機会になったことと思います。

自由研究コース



文責 日立理科クラブ 特別会員 岩波 英一  
日立理科クラブ事務所 TEL/FAX 0294-24-3104